

# 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

## 事業名 新型インフルエンザ等対策推進協議会等運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 感染症対策推進課 企画係 電話番号：058-272-1111(内3340)

E-mail : c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,248千円 (前年度予算額： 1,262千円)

### ＜財源内訳＞

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 源
前年度	1,262	622	0	0	0	0	0	0	640
要求額	1,248	615	0	0	0	0	0	0	633
決定額									

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナ対応の経験を踏まえ、令和6年7月に国において新型インフルエンザ等対策政府行動計画が改定され、本県においても、政府行動計画を踏まえ、令和7年3月に県行動計画を改定した。

改定にあたっては、平時において、新型コロナ対応において有効であった「感染症対策本部」「感染症対策協議会」「感染症対策専門家会議」の理念や機能を継承した。

#### 感染症に対する推進体制 (有事→平時)

感染症対策本部 → 新型インフルエンザ等対策推進会議  
感染症対策協議会 → 新型インフルエンザ等対策推進協議会  
感染症対策専門家会議 → 感染症対策専門家会議

県行動計画改定後の2年目にあたる令和8年度も、平時の体制において、引き続き計画のフォローアップを進め、感染症危機に強い社会の実現を目指す。

#### (2) 事業内容

県行動計画のフォローアップ（進捗状況の確認、評価、改善点の把握等）等を行うため、以下の会議を開催し、意見等を聴取する。

- ①新型インフルエンザ等対策推進会議：副知事、各部局長、岐阜市 等
- ②新型インフルエンザ等対策推進協議会：県内全市町村に加え、医療、経済、教育に至る幅広い分野の関係者
- ③感染症対策専門家会議：感染症、救急医療、防災、経済等の有識者

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,137	委員謝金
旅費	71	委員費用弁償
需用費	40	会議費
合計	1,248	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県新型インフルエンザ等対策行動計画

(2) 国・他県の状況

新型インフルエンザ等対策特別措置法第7条第3項において、都道府県は有識者等の意見を聴取することとなっている。

(3) 後年度の財政負担

次の感染症危機により万全な対応を行うことを目指し対策の充実等を図るため、継続的に事業を進めて行く必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

県行動計画のフォローアップであり、県が事業主体となる。

# 事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 繼続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

感染拡大防止と社会経済活動のバランスを踏まえた、感染症危機に強くてしなやかに対応できる社会を目指す。

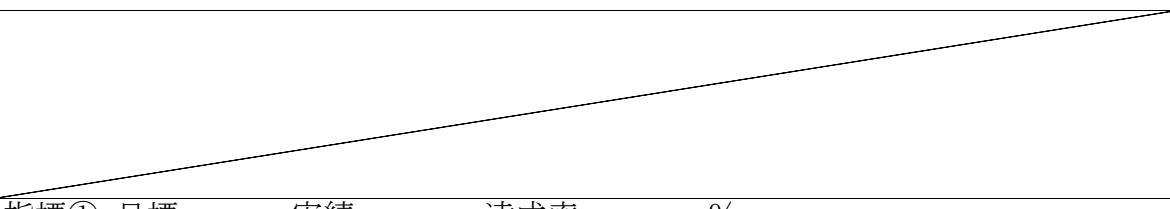
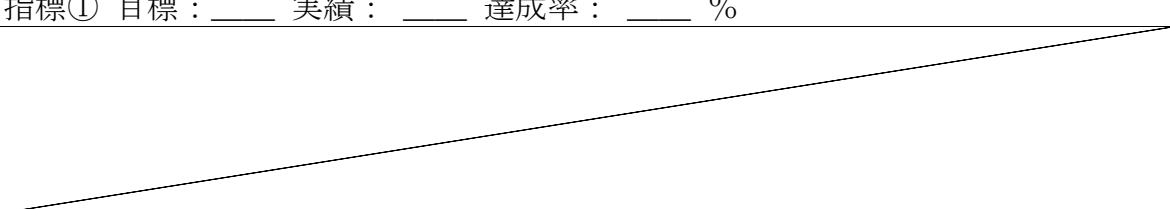
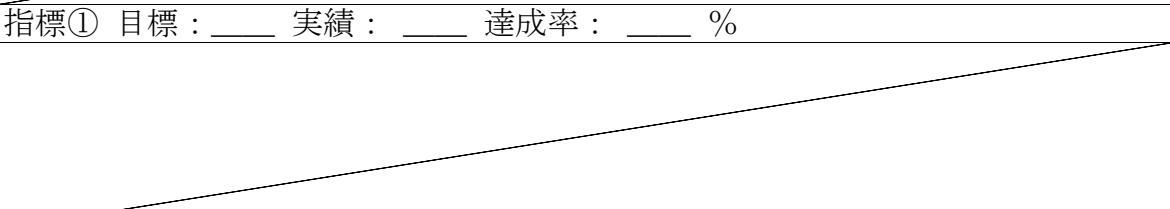
### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

県行動計画のフォローアップにおける会議運営費であり、指標の設定に馴染まない。

### (これまでの取組内容と成果)

令和4年度	 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	新型コロナ対応の経験やその課題を踏まえ、平時の備えを充実することは、次なる感染症危機に対し重要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	構成委員から新型コロナ対応を踏まえた新興感染症対策における方向性や取り組むべき課題等、様々な意見があり、行動計画の改定に反映することができた。 また、関係者間での情報共有や速やかな意思決定を図る上で、当協議会は有効に機能している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	一部委員は、状況や議題に応じて、オンライン参加とすることも検討し、委員の負担やコストの軽減を図る。

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

県行動計画改定後の2年目にあたる令和8年度も、平時の体制において、引き続き計画のフォローアップを進め、感染症危機に強い社会の実現を目指す。

### (次年度の方向性)

#### ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

次の感染症危機において、万全を期すことをを目指し、対策の充実等を図っていくため、継続的に事業を進めて行く必要がある。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	